

4 おいしい早期出荷米「兵系72号」

ねらいと成果

県北部において、主力の「コシヒカリ」が販売される前の約1月間、極早生品種による新米の一定量の需要がある。現在この需要に対して、「フクヒカリ」や奨励品種ではないが「ハナエチゼン」の作付けが行われている。ところが、「フクヒカリ」は食味は良いものの夏季高温年での品質の低下が大きく、また、「ハナエチゼン」は外観品質は良いものの米飯が硬く、食味評価がよくない。そこで、夏季高温年でも乳白等の発生による品質低下が小さく、かつ食味が良い早期出荷用新系統「兵系72号」を育成した。

内容

「コシヒカリ」を祖父、「ひとめぼれ」(東北地方の良食味品種)を父とし、1991年生物工学研究所で交配、その後蒔培養で固定した。系統選抜は北部農技で行い、夏季高温年でも乳白の発生が少なく、品質の良好な「兵系72号」を育成した。

「兵系72号」は、「フクヒカリ」より出穂期が2日、

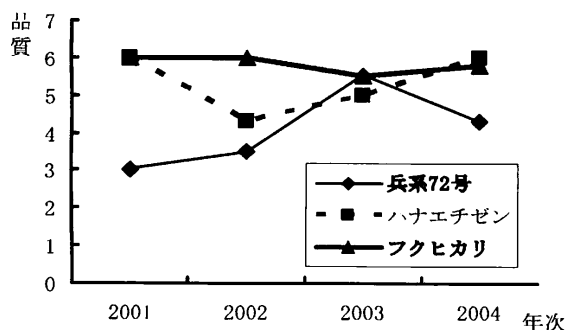


図1 「兵系72号」の品質の年次移動

注) 品質: 1~5: 1等, 6~7: 2等

成熟期が5日早い極早生で、収量は「ハナエチゼン」よりやや少ないが、「フクヒカリ」より多い(表1)。品質は「フクヒカリ」より良好で、品質が良いとされる「ハナエチゼン」より2001、2002、2004年の高温年ではさらに上回っている(図)。食味は表2、3に示すように、「コシヒカリ」と味では同等で、総合ではやや劣るものの、「ハナエチゼン」より明らかにおいしい。

倒伏に対しては「フクヒカリ」並みであるが、稈質が柔らかいため、多肥では倒伏の危険性がある。また、いもち病にも強くないので、多肥は避け、「フクヒカリ」並みかやや控えめの施肥が望ましい。

今後の方針

本年度但馬地域で試作を行い、年度末には実用性を検討して、種苗登録の可否を判定する予定である。

岩井正志(北部農技・農業部)

表2 食味官能調査(穀検: 2003、2004年の平均)

品種・系統名	評価の指数			
	硬さ	粘り	味	総合
兵系72号	-0.175	+0.125	+0.275	+0.150
比) コシヒカリ	-0.425	+0.375	+0.200	+0.250

注) コシヒカリと日本晴の混合を基準(0)とした。

表3 ふれあいデー一般来場者80名による評価

品種・系統名	総合評価
兵系72号	3.4
参) ハナエチゼン	3.0

注) 評価は、まずい(2)、普通(3)、うまい(4)とした。

表1 生育および収量調査成績(2001~2004年の4か年の平均値)

系統名 品種名	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏 0-5	いもち		精玄米重 kg/10a	千粒重 g
							0-5	葉 穂		
兵系72号	7.19	8.23	75	17.6	448	1.2	0.3	0.5	545(109)	22.5
参) ハナエチゼン	7.20	8.25	74	17.7	458	0.0	0.0	0.1	554(111)	23.0
比) フクヒカリ	7.21	8.28	76	19.1	437	0.5	0.3	0.0	501(100)	23.8

注1) 田植期の平均は5月12日で、栽植密度は30cm×15cmの22.2株/m²である。

注2) 施肥(Nkg/10a): 4(基肥)、2(追肥)、2(穂肥)